



人同協だより

令和2年10月15日 発行 常磐地区人権・同和教育推進協議会

2020（令和2）年度 常磐地区「人同協」の事業活動について ＝基本方針＝

- 1) 常磐地区人権・同和教育推進協議会（人同協）は一人ひとりの人権が大切にされる地域
社会の実現に向け事業を積極的に展開し、人権教育の推進に努める。
- 2) 人同協委員（啓発委員を含む）は人権教育を進めるため、地域における推進役としての自覚をもって人同協の事業に積極的に参加するとともに、自らも不断の努力によって人権意識の高揚に努める。
- 3) 学校教育と社会教育は連携して、地域における人権教育の推進に努める。
- 4) 人同協を構成する各団体は人権教育の成果をふまえ、それぞれの団体の活動において

1. ご挨拶 川崎 俊哉 会長



今年度、常磐地区人同協の会長を辻山前会長から引き継ぎました川崎俊哉です。コロナ禍で今年度は地区懇談会等の年次行事が中止となりましたが、環境が整い次第活動を再開し、皆様と共有しながら事業を推進していきます。今こそ、人と人のつながりを大切にして、人権を尊重し、より良い地域環境の構築を掲げて頑張っていきますので、宜しくお願い致します。

2. 新年度の役員とその主な役割は次のように決まりました。（敬称略）

役 職	氏 名	所 属	備考（役割分担）
会 長	川崎 俊哉	啓発委員	研修部員
副会長	高島 昭仁	連合自治会	事業部員
副会長	牧野 鉦	保護司会常磐分会	啓発部員
副会長	辻山 忍	啓発委員	広報部員
書 記	小関 司郎	連合自治会	事業部員
書 記	塚本 和泉	民生児童委員	研修部員
書 記	芥川 千奈津	啓発委員	啓発部員
会 計	川村 浩	啓発委員	広報部員
理 事	事業部長	小林 和行	連合自治会
	啓発部長	清水 啓一	常磐中PTA
	研修部長	栗迺 隆興	人権擁護委員
	広報部長	鈴木 茂見	啓発委員

3.～目標に向かってダッシュ！～2020年度 常磐人同協 事業計画



年度はじめは、このイラストのように昨年度にも増して多様な人権啓発を設定し目標に向かってダッシュ！するはずでした。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～9月までの上期事業計画は、多面的に中止または、延期となりました。現況を踏まえて、事業計画を見直しました。冒頭、川崎会長の決意どおり、地域の皆様方とのつながりを大切に、人権尊重を第一に10月～3月迄の下期事業計画推進へダッシュします。

1) 4月～9月までの上期実施実績

項	日付	事業内容
1	5月26日(火)	総会は「書面表決」により実施 書面表決書 発送 153名(回収 106名 回収率 70%) 未回収分 47名は「賛成」と見なして集計 賛成 153名、反対 0名 により可決されました。
2	6月19日(金)	連合自治会長会議で本年の「地区懇談会」中止、「代替案」を説明 代替案は、「*コロナと人権」のビデオを制作し、自治会組回覧によって各ご家庭で視聴しながらの学習をお願いしました。(詳細は3頁)
3	6月23日(火)	第1回役員・理事会 開催
4	8月～9月16日	2020年度人権標語募集期間
5	7月～8月予定	委員研修会・中止
6	9月予定	人権講演会(コンサート)・中止

2) 10月～3月までの下期実施計画 (新型コロナウイルス感染症防止対策で変更になる場合があります)

7	10月6日(火)	第2回役員・理事会(人権標語選考会)
8	10月16日(金)	連合自治会長会議で組回覧用「*コロナと人権」の冊子とビデオCDを配布
9	10月25日(日)	赤堀ふれあいまつり「人権の広場(人権標語など)」出展(詳細は4頁)
10	11月3日(祝)	常磐まつり「人権の広場」出展・中止
11	11月21日(土)	人権講演会『ダイバーシティ社会をめざして』講師 田村太郎氏 会場：常磐地区市民センター 開催時間：14:00～15:30 (講演会終了後に「人権標語・一般の部」入賞作品の表彰を挙行)
12	12月6日(日)	人権フェスタ2020「人権の広場」出展・中止(フェスタは規模縮小で開催予定)
13	1月24日(日)	**四同研大会『常磐人同協の取り組み』報告・中止(再開来年8/22の予定)
14	2月13日(土)	視察研修 北海道の名付け親「松浦武四郎記念館」ほか

・人同協だより 年2回 10月、3月に発行(広報部)

*正式名称「新型コロナウイルスと人権について」

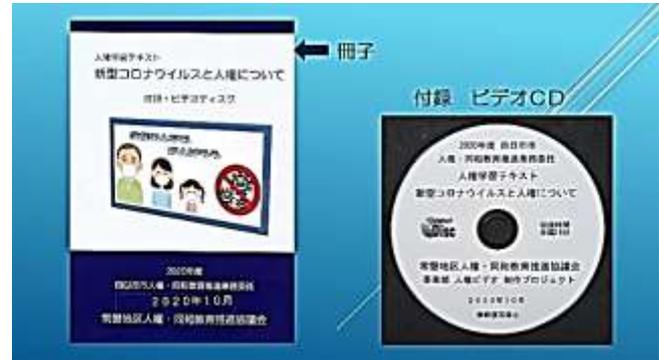
**正式名称「四日市人権・同和教育研究会」

4. 一特集一地区懇談会の中止と代替事業について

◇今年度の地区懇談会は新型コロナウイルス感染症拡大により、自治会ブロックごとに集合しての開催は困難なため中止しました。

そこで代替事業として、常磐地区人同協の事業部を中心にして人権ビデオ『新型コロナウイルスと人権について』を制作しました。そして、これを自治会組回覧により各ご家庭で視聴とアンケートにお答え頂き、人権学習をすることにしました。

(本件は6月19日の常磐地区連自治会長会議にて人同協会長よりご説明させて頂きました)



◇本事業取り組みの動機：本年6月、四日市市人権センターなどからのメッセージ『新型コロナウイルス感染症に関連した人権侵害について』が発信されました。(下記に要約)

- 1) インターネットやSNSなどへの根拠のない書き込み、見えないウイルスへの不安から感染症が広がっている地域住民を嫌悪の対象とすること。
- 2) これらの新型コロナウイルスを理由としたいじめ、偏見、差別につながる行為、誹謗中傷などは、絶対許されない。
- 3) 不確かな情報や誤った認識に惑わされず、国や県・市からの正確な情報を知って、お互いの人権を尊重した行動をとる。

• この「メッセージ」を^{かがみ}鑑に、「ウイルスの解説と感染症拡大防止」を含めた人権学習テキスト『新型コロナウイルスと人権について』の冊子とビデオの制作に着手しました。

◇具体的な事項：

1) ビデオの制作は、四日市市人権センター、四日市市保健所、常磐地区市民センターの協力(出演、資料提供、制作への参加)や、日本赤十字社制作の動画『ウイルスの次にやってくるもの』の動画などのデータ使用許可を頂き、完成することが出来ました。

2) 作品内容は、「テキスト(冊子B5版、本文15頁)」、「ビデオCD 18分」、「学習ガイド付きアンケート用紙」の3点セットになっております。

3) 冊子&ビデオのストーリーは連携した内容です。(その要点を下記に示します)

① コロナウイルスについて→ ② 新型コロナウイルス拡大が恐怖→ 防衛本能→ 非難差別へつながる(日本赤十字社制作の動画視聴)→ ③ 新型コロナウイルスと人権侵害について(人権センターの森 清志所長のお話)→ ④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止(手洗い、咳エチケット、3密を避ける)→ ⑤ 新型コロナウイルス最新情報を知る→ ⑥ 視聴後、アンケートに記入し提出をお願いする。

4) 冊子&ビデオCD配布は10月16日(金)連自治会長会議の折りに各自治会長へ組回覧の部数をお渡しする予定です。アンケートの回収期日は来年1月末日頃とします。

5. 今年度下期（10月～3月）の主な人権啓発事業にご協力を！

今年度の人権啓発活動は「新型コロナウイルス症状拡大防止」により多くの計画が中止になりました。年度後半の重点的な活動は、①「赤堀ふれあいまつり」出展、②人権講演会「ダイバーシティ（多様性）社会をめざして」開催、③「人権視察研修」の3件です。

この内、目前の日程「赤堀ふれあいまつり」出展について下記のとおりご案内します。



第13回赤堀ふれあいまつりポスター

・「赤堀ふれあいまつり」常磐人同協・初出展

常磐地区人同協は、来年度の四同研大会で課題「みんなで拓げる、じんけん常磐の和と輪」の人権啓発取り組み実践の発表が予定されています。常磐地区の人権啓発活動3団体（常磐人同協・赤堀人権のまちづくり・*人文協）が和を持って、より深く連携してその輪を拓げていきたいというのが趣旨です。

それに沿った事業として初めて「赤堀ふれあいまつり」にて「人権の広場」を出展します。

内容は、人権標語入選作品展示、絵本「へいわってどんなこと？」読み聞かせ、人権啓発グッズの配布などを予定しています。当日は是非「人権の広場」ブースへお越しください。

*正式名称「常磐地区子ども人権文化育成協議会」

6. 1冊の人権図書絵本を購入しました。

この絵本は子どものイラストがとても可愛いです。平和であってほしい、人権の基本を語っている絵本でもあります。（編集者 評）

作者の浜田桂子さんは、日本・中国・韓国の絵本作家の中心となって共同出版に漕ぎつけたそうです。浜田桂子さんのエッセーは、子どもたちに伝えたいのは、「生きているってステキだよ」ということで、いのちより優先されるものは何もない。平和とは、「いのちがまるごと認められ、大切にされること」と語られています。



（人権図書は常磐地区市民センターで保管願っています。閲覧・貸し出しなど詳しくは、センターへお問い合わせください。Tel 351-175

編集後記：・昨年暮れから、誰もが経験したことがない「新型コロナウイルス感染症」の拡がりが続いています。なんとか今夏には収束するかという期待もむなしく、総会で予定した啓発事業は次々に中止されて、あっという間に前半期が過ぎてしまいました。

・地区懇談会代替事業の『新型コロナウイルスと人権について』の冊子とビデオCDの制作は目標通りに進み、自治会組回覧により10月中旬には、各ご家庭で学習していただける見通しです。引き続き、今年度後半の啓発事業について各位のご協力をよろしく申し上げます。（H.K）